

(2) 特色ある教育活動

ア 学力向上 ○「協働問題解決能力」を中心に学力の向上を図る。

- ・算数科の問題解決能力の育成に向けた校内研究と習熟度に合わせた補習学習を行う。
- ・各教科の学習で調べたことを新聞づくりや観察日記、ポスター等にまとめることを通して、思いや考えを書いて伝え合い、表現力を向上する。
- ・年間を通して全学年で「俳句づくり」に取り組み、豊かな語彙力、表現力の育成を図る。
- ・学期ごとの読書旬間中での読書ビンゴやおすすめの本の紹介や図書館支援員や図書ボランティアによる読み聞かせを通して読書への興味関心を高めるとともに、「年間 100 冊」を目標に読書に取り組みさせることで、読解力、情報処理能力の向上を図る。
- ・総合的な学習の時間や教科等の探究的な学習では、図書館支援員、図書担当教員と連携し、関係書物や資料を充実させ、積極的に学校図書館を活用し、情報活用能力を育成する。
- ・2年生で「読み書きの力向上プログラム」を実施し、個に応じた読み書きの力を育成する。
- ・一人一台端末の操作方法を身に付け、ICT 機器を活用し、自己の考えを発信したり、他者と協働して考えを広げたり深めたりして、よりよく表現する力を身に付けさせる。

イ 豊かな心と人間性の育成 ○他者と共生できる豊かな人間性を育む。

- ・ハンセン病資料館、男女共同参画センターなどと連携した指導やゲストティーチャーによる指導を通して、児童に「命と人権」について理解を深めさせる。
- ・清瀬第六小学校、清瀬第七小学校、清瀬第十小学校と連携し、「松竹梅プラス科学の力向上プロジェクト」を行い、多彩なゲストティーチャーによる指導を通して、児童の科学的事象への興味・関心を高めさせる。
- ・サマースクールを実施し、多彩なゲストティーチャーによる指導を通して、児童に他者と協働して主体的に問題を解決できる能力を身に付けさせると共に、学びに向かう人間性を高め、社会的実践力を育成する。
- ・体験型安全教育学習として、外部講師を招き、「SNS の安全な利用」「防災教室」「交通安全教室」を実施し、児童に情報モラル、防災意識の育成を図る。

ウ 地域に開かれた学校づくり ○学校支援本部と連携し、地域に開かれた学校づくりを推進する。

- ・コミュニティースクール化に伴う地域協働のマネジメントを行い、学校支援本部や外部の協力者、協力団体と連携し、社会に開かれた学校づくりを推進する。
- ・年間を通して多彩なゲストティーチャーと関わる機会を設定し、様々な人の生き方に触れ、自分の将来について考え、社会の中で実践する力の基礎を育てる。
- ・地域の団体や施設との連携による学習を取り入れ、清瀬の自然、環境、歴史、産業等への関心を高める。
- ・インクルーシブ教育の理解について、教員研修と保護者向け講演会を実施する。
- ・花壇ボランティアの活動により、教育環境を整え、児童の情操教育の向上を図る。
- ・漢検ボランティアの支援のもと、児童が主体的に学習に取り組める目標の設定として、年2回の漢字検定を実施する。